

ちょっと ブレイクしませんか？

第

4

回

ジャイアンツ

イソップ寓話集には「無花果とオリーブ」と題する小話がある。

「無花果は冬になると葉を落とすので、隣人のオリーブから、丸裸だと罵られた。『私は冬も夏も葉で着飾って、常緑だ。君なんか、たまさか美しいのは夏だけだな』と言うのだ。このように得意がっている、突如神様の雷が落ちてきて、オリーブを焼き尽くした。無花果にはさわりもしなかった」
かくして富や幸運を誇る者は、非業の最期を遂げると諭している。

第1次大戦の終わった頃、東部ヴァージニアの美女レスリイ(エリザベス・テイラー)は、たくましい青年ビック(ロック・ハドソン)と知り合い、恋に落ち結婚し、ビックとともにテキサスへ。広い牧場の真中にそびえるヴィクトリア朝風の大邸宅。その家を切り廻しているビックの姉ラズは女丈夫で、弟嫁のレスリイはお客さま扱い。東部と西部の文化の違いを感じ出したレスリイは戸惑ってばかり。ビックの助手格のジェット(ジェームズ・ディーン)は家族同様に待遇されているが、レスリイへの眼差しは特別なものがあつた。やがてジェットを保護していたラズは落馬して死亡。ようやく主婦の立場をとり戻したレスリイも、愛するビックとの間の溝は次第に深まる。月日は流れ、夫婦の間には1男2女が生まれた。一方、かねて石油発掘に夢中だったジェットは、遂に金星を射止め、石油成金となって得意げに牧場を去る。後とりの長男ジョーデイにビックは牧場主の後継者を託すが、医者になりたいと申し出る。程なく第2次大戦が勃発。双子の娘の1人ジュディは結婚し、医科大学を卒えたジョーデイもメキシコ娘ファナと結婚の上、貧しいメキシコ人のため診療所を開く。ビックは怒り心頭だが、レスリイは満足の笑いを洩らす。

クライマックスは、戦争で成金となったジェットが、ホテルの新築祝いに一家を招待してからの一幕。ジェットは双子の娘ジュディに夢中になる。人種差別に立腹したジョーデイはジェットに殴り倒される。なぜかジェットは泥酔してしまう。牧場王のビックも巣立つ子供たちは押さえられない。馬から車や飛行機へと交通手段も変化する近代化に遅れたビックは「失敗だったらしい」と反省するが、レスリイから慰められる。

人間界は、無花果とオリーブほど単純ではなく、栄華と衰退、嫉妬と誇りが錯綜しています。「ジャイアンツ」当時のリズ・テイラーはメタボもなく美しく、ジェームズ・ディーンも魅力的です。

精神科医・映画評論家

かゆ かわ ゆう へい
粥川 裕平

国立大学法人名古屋工業大学
保健センター長
大学院産業戦略工学専攻教授

